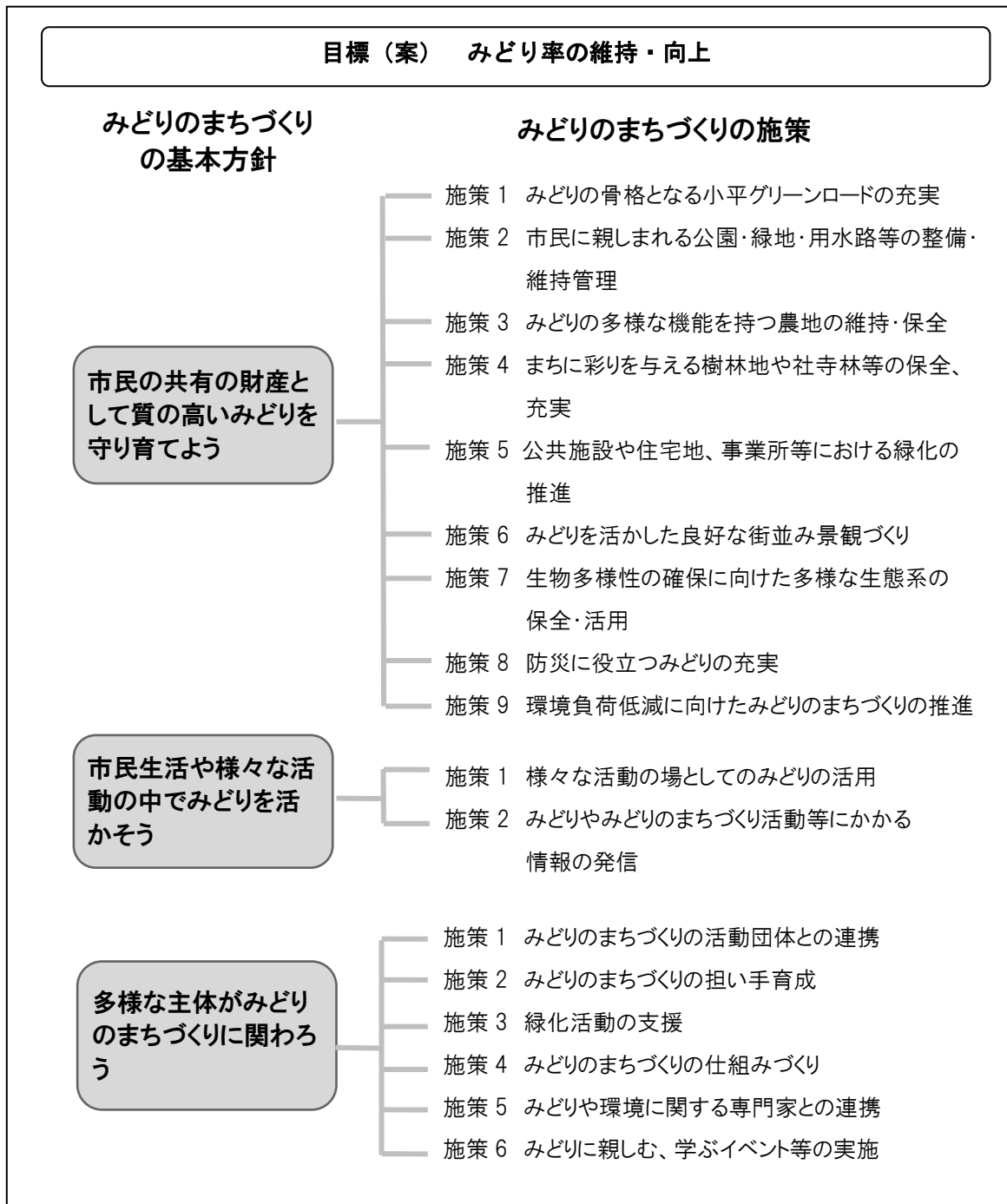


(仮称)小平市第三次みどりの基本計画

素案作成に向けて

計画骨子案について



みどりのまちづくりの基本方針と施策

基本方針1 市民の共有の財産として質の高いみどりを守り育てよう

小平市においては、みどりの骨格である小平グリーンロードや中央公園、都立小金井公園などの大規模な公園、樹林地や農地、用水路が多く存在し、これまで、市民・事業者・市民団体・市が協働し、保全の取組を進めてきた。

これらのみどりは市民共有の財産であるとともにまちの魅力を高める重要な要素であるため、これからも守り育て、次世代へと引き継いでいく。

- 施策 1 みどりの骨格となる小平グリーンロードの充実
- 施策 2 市民に親しまれる公園・緑地・用水路等の整備・維持管理
- 施策 3 みどりの多様な機能を持つ農地の維持・保全
- 施策 4 まちに彩りを与える樹林地や社寺林等の保全、充実
- 施策 5 公共施設や住宅地、事業所等における緑化の推進
- 施策 6 みどりを活かした良好な街並み景観づくり
- 施策 7 生物多様性の確保に向けた多様な生態系の保全・活用
- 施策 8 防災に役立つみどりの充実
- 施策 9 環境負荷低減に向けたみどりのまちづくりの推進

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・「小平グリーンロード」を小平市の自然環境の良い点であるとしている人が多い。（市民団体アンケート）
- ・小平市の緑の量について多くの人が、減っていると感じている。（市民団体アンケート）
- ・小平市の緑に満足している人は不満に感じている人よりも多い。（市民団体アンケート）
- ・小平市の緑に対して、「鳥類や昆虫など生物の住みかとなること」を望む割合が最も高く、続いて「身体の健康づくりや、心の安らぎの場となること」、「都市の気温や空気などの環境を調整すること」、「緑豊かな小平市をアピールするような景観をつくること」が高い割合を示している。（市民団体アンケート）
- ・市内を流れる玉川上水や野火止用水等の用水路及びこれに沿った緑道については「小平市の最大の宝」、「緑のネットワークが形成されている」「ここがあるから緑や環境が守られている」等といった意見が多数ある。（市民団体アンケート）
- ・小平市のみどりで良いところはグリーンロードを中心として、玉川上水、鷹の台の中央公園などである。（地域懇談会）

目標(案)

一人あたりの公園・緑地面積0㎡
市民のみどりに満足している割合0%以上

施策1 みどりの骨格となる小平グリーンロードの充実

小平グリーンロードのみどりについては、今後も小平市のみどりの骨格となる豊かなみどりとして維持・保全を図るとともに、快適な散策路として利用できるよう案内板やベンチ等の施設の充実について検討していく。

また、小平グリーンロード沿いの樹林地や公園、公共施設においてもみどりの充実を進めていく。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・将来にわたって残したい緑は、「小平グリーンロード」の割合がとりわけ高い（市民団体アンケート）
- ・グリーンロードは身近な生活に密着したみどりであり、サクラが植わっていて花が咲く頃は見応えがある。（市民団体アンケート）
- ・玉川上水に案内板を増やすとかベンチを設置するとか周辺のお店のマップをつくるとかそういう取り組みが必要ではないか。（市民団体アンケート）
- ・グリーンロードは緑のトンネルにすれば、夏の日中でも散歩できるかもしれない。（環境審議会）

【考えられる取組について(案)】

小平グリーンロードのみどりの保全

公共施設の緑化推進

道路・接道部緑化の推進

緑道における案内板やベンチ等の設置【新】

みどりのネットワークの拠点となる公園づくり【新】

施策2 市民に親しまれる公園・緑地・用水路等の整備・維持管理

今後の人口減少等を見据えながら計画的な公園整備を推進し、整備後相当年数が経過している公園については、利用者のニーズ等に対応した再整備や設備の更新を検討する。

維持管理にあたっては、Park-PFI や指定管理者制度、アダプト制度など市民や事業者が公共施設の管理者に携わる展開も含め、その規模や特徴に応じた方法を検討する。

用水路については、親水整備を中心に環境に配慮した整備を推進していく。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・公園の維持管理をどのように進めていく方が良いのかという質問に対して「市民と行政の協働」が最も高かった。（市民団体アンケート）
- ・公園にカフェなどもできるようになったというが、スタバのようなチェーン店ではなく地域の人が運営するものになってほしい。（地域懇談会）
- ・用水は小平の自慢の一つで、緑と共に良い環境である。市の公園は遊具も古く、樹木の剪定も場所によってはきちんとされていないように感じる。力を注いでいる場所は良く

なっているのは当然である。古くからある小さな緑地や公園を美しくして再活用してほしい（小平市の環境に関する市民アンケート調査）

- 「貴重な野草ごと草を刈られてしまった」、「樹木の強剪定が目立つ」といった公共空間のみどりの維持管理に関して、より一層の質の向上を求める意見があった。（市民団体アンケート）
- 用水路の保全に関する考え方としては、「すべての用水路を保全する」を望む意見が最も多い。（市民団体アンケート）
- 用水路の整備・維持に重要と思われる事項としては、「現状のような自然を残した状態」を望む意見が最も多い。（市民団体アンケート）

【考えられる取組について(案)】

都市計画公園の整備促進

用水路の親水緑道整備の推進

用水路の沼さらいの支援

民間の発想を活かした公園の管理運営の検討【新】

施策 3 みどりの多様な機能を持つ農地の維持・保全

農地については、農業生産の場のほか防災、良好な景観の形成、農業体験による学習及び交流の場の提供など多様な機能を持つことから、良好な生活環境の確保を図りながら保全に努める。また、農地所有者の意向を踏まえつつ市民等が農業やみどりに触れ合う場などとしての活用を図る。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- 農地のあり方としては、「市民農園や農業公園、体験農園などとして活用」が最も高い割合となっている。（市民団体アンケート）
- 「農地をこれ以上減らさない」、「農地がどんどん宅地化されている」といった農地の減少を危惧する意見がみられた。（市民団体アンケート）
- 「相続対策で農家が土地を売らずに済むような対策を」、「ボランティアや専門家が参加して、作物は販売し維持費にあてるといった工夫で、農業公園にすることはできないか？」という意見があった。（市民団体アンケート）
- 生産緑地が減って来ていることを目の当たりにして危機感がある。（地域懇談会）
- 空いている生産農地を貸し農園や市民農園として利用できれば、活用したいという人は多いと思う。（地域懇談会）

【考えられる取組について(案)】

地産地消の支援と普及
学童農園の推進
農地の保全と有効活用
既存の農地を生かした農業公園の整備【新】

施策 4 まちに彩りを与える樹林地や社寺林等の保全、充実

個人所有の樹林地や社寺林等のみどりについては、身近な憩いの空間等として周辺住民との関わりのなかで長い間守られてきたことから、所有者の協力を得ながら保存樹林制度などを活用しつつ、今後も適切な保全・充実に努める。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・小平市の自然環境の良い点として「グリーンロード」の次に割合が高いのは「雑木林などの樹林地」である。(市民団体アンケート)
- ・かつての里山の風景を形成する「屋敷林」「雑木林」の減少、またこれらの減少によって、雑木林を生育環境としている動植物がいなくなってしまうことを危惧する意見が見られた。(市民団体アンケート)

【考えられる取組について(案)】

樹林地の保全
特別緑地保全地区等の指定
保存樹林・保存竹林制度の継続運用と制度改善
社寺林・屋敷林などのみどりの保全手法の検討
市民緑地制度等を活用したみどりの保全の検討

施策 5 公共施設や住宅地、事業所等における緑化の推進

開発に関する条例等による事業者への緑化指導を行い、積極的なみどりの確保を誘導する。また、小規模な事業に対する緑化指導の方策等について検討する。

公共施設の整備や建て替えの際は、既存のみどりを活用しつつ、敷地内緑化、建築物の壁面・屋上緑化など多様な手法によるみどりの確保に努める。

住宅においては、生垣造成の助成制度を推進するとともに、鉢植え等による軒先やベランダ、バルコニー等小さな空間を利用した身近なみどりづくりを促進する。

事業所、工場等においては、防災、ヒートアイランド対策、景観形成等の観点から積極的な敷地内緑化と適切な維持管理を促す。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- 学校の屋上の緑化や校庭も含めた緑を面的に増やせば、地球温暖化の防止のためにも貢献するのではないか。（環境審議会）
- 「普段の生活の中で行っている緑に関する取組」で最も割合が高かったものは、「ガーデニング」であり、71.5%を占めている。次いで「家庭菜園」、「生垣」が3割以上となっている。（市民団体アンケート）
- 国分寺のように、開発面積に応じて緑地帯を設ける義務を負うような制度が必要なのではないか。（地域懇談会）

【考えられる取組について(案)】

屋上緑化・壁面緑化の促進
地区計画や緑地協定制度によるみどりの保全と創出
個人住宅の緑化の促進・支援
事業所等の緑化促進の検討【新】

施策6 みどりを活かした良好な街並み景観づくり

街路樹は、通行する車・自転車や歩行者の安全性を確保しながら、計画的な剪定や植え替え等の維持管理、更新を進める。

駅前や交差点付近等多くの人の目に触れる場所では、シンボルツリーや季節感のある樹種の植栽等まちに彩りを添えるみどりの空間づくりに取り組む。

風致地区内のみどりについては、条例に基づき良好な風致の保全を図り、風致が存在していない地域については、地域の状況に適したみどりを確保する手法について検討する。また、効果的な緑の創出の手法として緑化地域制度等について検討する。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- 沿道の緑を増やすための効果的手法として、「街路樹や並木を増やす、育てる」が最も多く、「生垣を増やす」が続いている。（市民団体アンケート）
- 保存樹木・保存樹林については「制度を継続して、緑を保護していく」という現状維持を希望する意見の割合が最も高い。（市民団体アンケート）

【考えられる取組について(案)】

街に潤いをもたらす街路樹の整備
駅前広場等の緑化の推進
名木百選の育成支援
保存樹木、保存竹林制度の継続運用と制度見直しの検討
道路の新設整備に伴う街路樹等のみどりの創出
風致地区のあり方の検討【新】

施策 7 生物多様性の確保に向けた多様な生態系の保全・活用

緑化を進める際は周辺のみどりの環境との連続性に配慮するなど、生態系に配慮した整備に努める。また、外来種対策を進めるとともに、生きものそのものへ働きかけて生態系の保全を図り、活用にも取り組む。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・市民が小平市の緑に対して望むことで最も多いのは、「鳥類や昆虫など生物の住みかとなること」であった。（市民団体アンケート）
- ・生物多様性保全のために取り組む必要のある重要事項としてあげられている意見は、「多様な生き物が生息できる自然環境の確保」が最も高く、次いで「外来生物による生態系への影響の防止」となっている。（市民団体アンケート）
- ・生物多様性に関する取組として重要だと思うものは、「多様な生き物が生息できる自然環境の確保」や「在来種の保全や外来種の対策」等であった。（小平市の環境に関する市民アンケート調査）

【考えられる取組について(案)】

用水路を活用した水辺空間の整備

ホテルの育成支援と普及啓発

地産地消の支援と普及(再掲)

生き物調査の実施【新】

生物多様性保全に向けた普及啓発【新】

生物多様性保全に関する学習支援【新】

外来種対策の検討【新】

施策 8 防災に役立つみどりの充実

災害時の一時避難場所に指定されている公園等については、防災機能の充実を図る。避難路となる道路については、延焼防止効果がある沿道のみどり化やオープンスペースの確保を検討する。用水路については、環境との調和に配慮した浸水対策に努める。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・宅地造成する時に、災害時の一時避難場所として使える位のスペースを確保してはどうか。（小平市の環境に関する市民アンケート調査）
- ・近年の大型台風の到来、及びこれにより引き起される被害の大きさを踏まえ、「自宅近くの高木が倒木するかもしれないので適切な維持管理を望む」、「大雨による冠水被害を防ぐため排水路への落ち葉対策」という意見があった。（市民団体アンケート）

【考えられる取組について(案)】

災害時の農家との連携の推進
新規公園整備における防災機能の強化【新】
生垣のみどりを活用した防災機能の充実【新】
災害に備えた水環境の整備【新】

施策 9 環境負荷低減に向けたみどりのまちづくりの推進

みどりは、人々に潤いや安らぎを与えるだけに留まらず、二酸化炭素の吸収・固定の機能により地球温暖化の防止に寄与している。樹木などのみどりの保全により地球温暖化の緩和を図るほか、自然資源の再利用等により環境負荷低減に努めていく。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- 最近の新しい住宅地に植栽が全く無く、日陰が少なくなってしまった。温暖化が進む中、樹や緑をもっと残して欲しい（小平市の環境に関する市民アンケート調査）

【考えられる取組について(案)】

樹林地の保全
雨水の利用の促進
みどりの再利用
街路樹などのみどりによるヒートアイランドの緩和【新】
ベランダの緑化・緑のカーテンなどによる緑化促進【新】

基本方針2 市民生活や様々な活動の中でみどりを活かそう

市民の日常生活や様々な活動の場において、積極的なみどりの活用を図る。

小平グリーンロードや樹林地、農地など小平市には個性豊かなみどりが豊富であり、これらを活かしながら、従来のレクリエーション、防災、環境保全、景観形成等に加え、教育、生涯学習、交流・地域活性化等の分野でもみどりの積極的な活用を図る。

施策1 様々な活動の場としてのみどりの活用

施策2 みどりやみどりのまちづくり活動等にかかる情報の発信

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・近隣の公園の利用目的としては、「子どもや孫の遊び場として」という回答が最も多く、これに続いて「景色を楽しむため」、「自分の休憩・休息のため」等となっている。（市民団体アンケート）
- ・公園の利用頻度は、「たまに利用する」という回答が最も高く、次いで「よく利用する」となっている。（市民団体アンケート）
- ・公園を「あまり利用しない」、「ほとんど利用しない」と回答した人に、その理由訊いたところ、約半数の方が「機会が無いから。時間がないから」と回答している。（市民団体アンケート）

【目標(案)】

公園・樹林地等の公共緑地の活用箇所数(活用実績)

一人あたりの公園・緑地面積 $0m^2$

施策1 様々な活動の場としてのみどりの活用

みどりが持つ多様な機能を踏まえ、それらの効果を発揮すべく憩いや健康づくり等のこれまでの活用分野にとどまらず、教育や福祉、地域活性化など様々な場面での活用を図る。

①健康づくり、レクリエーション分野

- ・みどりが持つ基本的な役割である健康づくりやレクリエーションの場としての活用

②子育て分野

- ・子どもがみどりで遊びながら、心身の成長や家族、友達と絆を深める場としての活用
- ・親同士の出会いの場、さらには悩み相談や情報交換、育児の息抜きの場などとしての活用

③教育、生涯学習分野

- ・公園や樹林地、用水路、農地などの豊かなみどりを活用した生態系や環境問題についての学習の場としての活用
- ・市民の知的欲求の高まりに応えるための歴史や文化等も含めた地域学習の場としての活用

④保健・福祉分野

- ・みどりと触れ合い、緑の癒し効果による心身のストレス緩和、機能改善等の場としての活用

⑤交流・観光、地域活性化分野

- ・みどりを集客等のための要素として位置づけた活用
- ・交流人口の増加、市のイメージアップ、地域経済の活性化等に向けた祭りやイベントの開催、観光農園の取組など

⑥景観分野

- ・まちにゆとりとうるおいを与える景観構成要素としてのみどりの活用
- ・地域の魅力や価値の向上、市民の自分のまちに対する誇りや愛着の醸成に向けた良好な都市景観形成

⑦防災分野

- ・防災、減災に寄与する要素としてみどりの活用
- ・災害時の延焼防止や避難場所、一時貯留池などとして機能するような整備等による防災性の向上

⑧自然環境保全分野

- ・生物の生息や気象緩和など環境面からのみどりの活用
- ・大気の浄化、都市型気象の緩和などによる快適な都市環境形成

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・「公園がせまく、ボール遊びのできる公園が少ない」との意見があった。（小平市の環境に関する市民アンケート調査）
- ・今の子どもたちに対し生物多様性の教育が十分にされていないように感じている。教科書に載っていないようなことも多い。授業や課外活動の場で、生物多様性について教育の場を設けてみてはどうか。（環境審議会）
- ・今後、環境について学びたいこととしては、「身近な自然のこと」がもっと多かった。（小平市の環境に関する市民アンケート調査）
- ・公園内に屋内の休憩スペースがほしい。不登校の子も受け入れられるような福祉的な機能を持つ施設が良いのではないか。（市民団体アンケート）
- ・管理の行き届いていない提供公園があるが、コミュニティガーデンをやってみたい。（地域懇談会）
- ・国土交通省もグリーンインフラという概念を打ち出している。みどりだけで完結するのではなく、ヒートアイランド対策や医療費の削減につながるロジックを組み立てられるとよいのでは。（地域懇談会）

【考えられる取組について(案)】

学校の地域開放の実施

イベント実施等のための公園や緑地の活用促進【新】

施策2 みどりやみどりのまちづくり活動等にかかる情報の発信

市の広報やホームページはもちろん、SNS 等の様々な情報発信手段を活用し、グリーンロードをはじめとする市のみどりの紹介や、みどりを活用した取組を市内外に発信する。

みどりに関する講座等を開催し、市民がみどりに対して理解を深める機会を提供する。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- 「水と緑と公園課」の存在を知らない人が多い、「ボランティア情報にアクセスしにくい」、小平市の宝である緑について周知することが必要、「緑のまち小平を広く知ってほしい」といった理由から、PR・広報の必要性を求める意見が多く見られた。(市民団体アンケート)
- 生垣造成費補助制度についての周知度は59.6%で約4割の方は知らない状況である。(市民団体アンケート)

【考えられる取組について(案)】

みどりに関する制度のPR

SNS 等を活用したみどりに関する情報発信【新】

みどりの講座やイベントの実施【新】

緑化指導・緑化技術の普及【新】

基本方針3 多様な主体がみどりのまちづくりに関わろう

みどりの利用・活用が市民の生活や都市活動をより充実させるという市民への意識啓発に取り組む。また、みどりに関わる主体の育成やみどりのまちづくりに参画できる場、機会の充実など市民にとってより良いみどりのまちづくりを推進するという意識のもと、より多くの市民がみどりに関わる取組を推進する。

施策1 みどりのまちづくりの活動団体との連携

施策2 みどりのまちづくりの担い手育成

施策3 緑化活動の支援

施策4 みどりのまちづくりの仕組みづくり

施策5 みどりや環境に関する専門家との連携

施策6 みどりに親しむ、学ぶイベント等の実施

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・「緑の維持管理に関わる市民の参加を促す必要がある」という意見が多かった。（市民団体アンケート）
- ・「みどりの活動に関わっていたが、高齢により活動が難しくなってきた」という意見が見受けられた。（市民団体アンケート）

【目標(案)】

公園・道路等ボランティアの登録人数・アダプト登録団体数

みどりの活動を行う団体との連携数

施策1 みどりのまちづくりの活動団体との連携

みどりの活動にかかる団体や市民の取組についての支援やアドバイスを行うとともに、交流や情報交換の場となるプラットフォームを整備する。多様なみどりの効果を踏まえ、様々な地域の活動やまちづくり活動等に対し、みどりの活用を働きかける。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・「みどりの活動に関わっていたが、高齢により活動が難しくなってきた」という意見が見受けられた。（市民団体アンケート）
- ・担い手が充実するには、例えば「果実や花など収穫物を配分できるような植物を育てる」「小中学校との連携」「ガールスカウト・ボーイスカウトに声を掛ける」「活動団体への助成金があるとよい」という意見が見られた。（市民団体アンケート）

【考えられる取組について(案)】

活動団体の育成支援
市民主催イベントの支援
企業の社会貢献活動等との連携
アダプト制度の充実

施策2 みどりのまちづくりの担い手育成

初心者から経験者まで、多様なニーズに対応できる緑化ボランティアやみどりのまちづくりの担い手の育成講座を開くとともに、福祉や子育て等の活動団体や行政等との連携強化等により、育成した人材を紹介・派遣し、担い手の活躍の場を広げる。また、関係機関との連携を図りながら子どもへのみどりや環境に関する教育に取り組む。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・公園ボランティアへの参加意思については、「既に行っている」が最も多く、次いで「機会があればやってみたい」となっており、ボランティアへの参加意思は総じて高いことがうかがえる。(市民団体アンケート)
- ・共働きでギリギリまで働いており、町内会への参加を促すことも難しいので、みどりを守るということはそれだけにとどまらず、社会構造や労働条件を変えていく必要がある。(地域懇談会)

【考えられる取組について(案)】

みどりの顕彰制度の実施
市民や事業者などを対象とした講習会の開催【新】
活動団体等と連携したみどりの教育の推進【新】

施策3 緑化活動の支援

民間敷地の植栽を積極的に進めながらみどりの普及に努める。また、公園や公共空間において市民とともに緑化を図る「こだいら 花いっぱい プロジェクト」を推進する。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・ 緑に関する活動に対して希望する支援内容で一番高い割合の回答が、「活動場所の提供や道具の貸出（物的支援）」となっており、次いで「経済的な支援」となっている。（市民団体アンケート）
- ・ 「農地の減少を食い止めるのは困難。であれば個人宅の緑を充実する方向で緑を増やすとよいのではないか」そのためには「垣根の作り方やガーデニングの方法などのレクチャーを開催するとよいのではないか」という意見が見られた。（市民団体アンケート）
- ・ 生垣を増やすような取組も大事だと思う。（地域懇談会）
- ・ アンケート調査で市民が参加したいと思う環境活動について、最も多かったのが、「緑化活動」であった。（小平市の環境に関する市民アンケート調査）

【考えられる取組について(案)】

生垣造成補助制度の継続運用

身近なビオトープづくり

ベランダ緑化・緑のカーテンなどによる緑化推進【新】(再掲)

民間敷地への植栽支援【新】

花いっぱい運動の推進【新】

施策4 みどりのまちづくりの仕組みづくり

地区計画や建築協定、緑地協定の活用など地域の状況に応じた市民の自発的なみどりのまちづくりに関するルールづくりを支援する。また、アダプト制度等により、市民がみどりの管理に携わる取組を推進する。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・ 基金を積んで農家の方が土地を売らないで済み、将来に渡ってみどりを守れるようにできる仕組みが望まれる。（地域懇談会）
- ・ 管理の行き届いていない提供公園を見て、コミュニティガーデンをやってみたいと思っているが、どうしたらよいか。背中を押してほしい人も多いと思う。そんな時に苗木の配布などをしてもらえる制度があるとよい。（地域懇談会）

【考えられる取組について(案)】

緑の募金の普及と活用
提案型まちづくり条例の活用促進
多摩六都の相互協力による調査研究等
アダプト制度の充実(再掲)
緑化に関する助成制度の拡大・改正の検討【新】

施策5 みどりや環境に関する専門家との連携

みどりのまちづくりについて専門的なアドバイスを行うアドバイザー派遣制度の創設や専門家によるみどりの講習会の開催等、専門家との連携による取組を強化する。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・低木・草花などは専門家を招聘してマニュアルを作成、レクチャーを開催すれば後々自分たちでできると思う。(地域懇談会)
- ・文教地域でもある小平、様々な教育機関とも連携しながら、生物多様性のモデルケースとなるような、街作りをもっと強力にすすめてほしい。(小平市の環境に関する市民アンケート調査)

【考えられる取組について(案)】

みどりの相談員制度の実施
大学等との連携
国・東京都・関係自治体との連携【新】
みどりに関するアドバイザー派遣制度の検討【新】

施策6 みどりに親しむ、学ぶイベント等の実施

樹林地、用水路、公園のみどり等の自然を活用し、子どもたちが自然の生態系や環境保全について学ぶことができる生き物の観察会や学習会の開催を支援する。

また、毎年5月に実施している「花と緑のこだいらガーデニングコンテスト」や「こだいらグリーンフェスティバル」などにより、みどりに関する市民への普及啓発を図る。

【市民団体アンケート、環境審議会委員からの意見等について】

- ・観察会や調査など助成金を出してくれると嬉しい。(地域懇談会)
- ・緑陰の公園マップのようなものを入れるなど検討いただければと思う。緑地近くの住宅地の気温を測定し、涼しいという結果があれば、啓発に使うなど、みどりの効果を伝えることを検討してほしい(環境審議会)

【考えられる取組について(案)】

市民による森のカルテづくり

みどりのマップの作成

学校における環境学習の充実【新】

自然環境を活用した体験学習の実施【新】

みどりの講座やイベントの実施【新】(再掲)